

本機の特長と楽しみかた

確認

本機の特長と楽しみかた

本機の特長

● 業界初^{*1}、4チューナーを搭載

弱電界受信性能、高速移動受信性能を向上。ブレない綺麗な映像の受信エリアが大幅に拡大されます。

※1：2007年1月現在

● 地上デジタル放送に対応^{*2}

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

※2：本機には電話などの通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

● ワンセグに対応^{*3}

従来の地上デジタルテレビ放送に加え、ワンセグにも対応しています。

また、地上デジタルテレビ放送↔ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。(2008年までは、サイマル放送^{*4}が運用される予定です。)

※3：「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本機は、ワンセグのデータ放送と字幕には対応していません。

※4：サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタルテレビ放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。

● ホーム／おでかけモード

いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。

(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)

(☞ 22～25 ページ)

● 本格的5.1chサラウンドシステムに対応

システムアップ^{*5}で地上デジタルテレビ放送でのAAC5.1chサラウンドに対応しています。

(☞ 28、29 ページ)

※5：別売のカーナビゲーションシステムやサラウンドスピーカーシステムが必要です。

地上デジタル放送とワンセグ

	1チャンネル (13セグメント)												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル放送	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
地上デジタルテレビ放送 (HDTV放送時)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ワンセグ							■						

地上デジタル放送を楽しむ

(☞ 38～45 ページ)

B-CAS カードを挿入しないと地上デジタル放送が視聴できません。(☞ 16 ページ)

地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送 (VHF、UHF) や BS アナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

- 本機は、地上デジタルチューナーです。地上デジタルアンテナを接続してからテレビやカーモニターに接続すれば、地上デジタル放送が視聴できます。

番組表を使う

(☞ 40、41 ページ)

本機に接続した映像機器の画面上に一覧表示します。(地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは最大10番組)

- 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。

- データ放送
本機の画面の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。なお、本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

- 地上デジタル放送とは、UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものを中心です。(2007年1月現在)

- 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルをHDTV放送時は12セグメントを使用し、残りの1セグメントを使うため、このように命名されました。

確認

本機の特長と楽しみかた